



日野市立日野第四小学校

校長 三浦 寛朗

令和6年4月号

学校 Web ページ

<https://www.hino-ky.ed.jp/e-hino4/>



学校標語 「夢中になれる 夢中にさせる 日野四小」

祝 ご入学・ご進級おめでとうございます

校長 三浦 寛朗

暖かな春の日差しがうれしい季節を迎え、咲き誇る校庭の花々も、希望に満ちた子供たちを温かく迎えてくれています。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。私は校長の三浦 寛朗（みうら ひろお）と申します。本校に着任して3年目を迎えました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、本日、始業式、ならびに入学式を無事に挙行することができました。99名の新1年生を迎えて、全校児童数634名でのスタートとなりました。ご入学・ご進級おめでとうございます。子供たちは、これからの新しい学校生活に、期待と希望で胸をふくらませていることでしょう。

この4月から日野市の全小中学校・幼稚園で「第四次日野市学校教育基本構想」に基づいた教育活動が始まります。基本構想の中には、「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」を子供たち自らが育んでほしい力として書かれています。そして、この力を育んでいくためにそれぞれの学校が、8+のプロジェクトに、主体的に取り組んでいきます。本校では「学びの変革プロジェクト」に取り組み、探究的な学びと学びのアウトプットの場を充実させることで、子供たち一人一人が多様な学び方を身に付け、深く学べるようにしていきます。

また、本校では、昨年度から学校経営方針として、「夢中になれる 夢中にさせる 日野四小」という学校標語を掲げています。「夢中になれる」とは、子供たち一人一人が、自分で問いを見だし、その解決に向かって邁進していく姿です。さらに、子供たちのことだけでなく、教員、保護者、地域が子供たちの学びを支えることに喜びを見いだす姿と考えています。「夢中にさせる」とは「教師が子供たちに働きかけること」だけでなく、「子供同士」や「子供と保護者」「子供と地域」の関わりの中で子供たちが高め合い、自分の学びをより深めていく姿です。また、人は人との関わりの中で人格を形成していきますが、その過程で基盤となるのは相手を大切に敬う心、優しさです。友達と一緒に夢中になる経験から、子供たちの思いやりの心も育んでいきます。この学校標語には教科等の学習を通しての学びと、人と人との関わりを通しての心の学び、2つの側面を通して、「一人一人の『自己実現を図っていく力』『社会に貢献していく力』を育んでいきたい」という教育理念が込められています。

さらに、この学校標語は「目指す学校像」でもあると言えます。子供たちへの教育は、学校だけでは成り立ちません。保護者の皆様、地域の皆様と手を取り合って、協同・協働していくことがとても大切です。日野第四小学校は、子供たちが学習する場としての役割を果たしていくと共に、保護者や地域の皆様が集い、それぞれに関わりをもちながら、子供も大人もみんなで高めあっていく場としての役割も果たしていきたいと思っています。そして、この先もずっと、学校を取り巻くあらゆる人々が、夢中になれるような、誰からも愛される学校に成長を続けてまいります。

令和6年度も、より一層、子供たちが様々な場面で活躍をし、夢中になれることを見付けていくことができるよう、教職員一同、邁進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、温かいご協同・ご協働をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

〈学校教育 目標〉

「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来を作っていく力」を育むために、多様な関わりを通して、前向きに学ばふ力を育成する。

〈目指す児童像〉

すすんで学ぶ	【自己決定力】
助け合う	【人間関係形成力】
楽しく運動する	【実践力】

〈学校標語〉

「夢中になれる 夢中にさせる 日野四小」